

セカンドスクール活動例（出前利用）

秋田県埋蔵文化財センター

1 45分授業の場合

- ・ 5～7人のグループに分かれます。
- ①縄文時代の衣食住について、写真資料などで簡単に学習（復習）します。
- ②本物の石器を手にとって観察し、その特徴などから、種類や用途を予想します。
- ③具体的な使用例や解説などから、石器の名称や使い方を学習します。
 - ・ 実際に石器を使って紙を切ってみます。（時間に余裕がある場合）
- ④本物の縄文土器を手にとって、大きさや形、文様などを観察し、どんな使い方をしたか考えます。
- ⑤土器について解説を聞き、作り方や使い方を学習します。
- ⑥縄文土器の文様はどのようにして付けられたか、道具を使い、いろいろな縄文を粘土の上に付けてみます。

2 90分授業の場合

- ・ 5～7人のグループに分かれます。
- ①縄文時代の衣食住について簡単に学習（復習）します。
- ②地域にある遺跡や文化財について、写真資料などで学習します。
- ③本物の石器を手にとって観察し、その特徴などから、種類や用途を予想します。
- ④具体的な使用例や解説などから、石器の名称や使い方を学習します。
 - ・ 休憩（5～10分）
- ⑤実際に石器を使って紙を切ってみます。
- ⑥本物の縄文土器を手にとって、大きさや形、文様などを観察し、どんな使い方をしたか考えます。
- ⑦土器について解説を聞き、作り方や使い方を学習します。
- ⑧縄文土器の文様はどのようにして付けられたか、道具を使い、いろいろな縄文を粘土の上に付けてみます。
- ⑨これまでの歴史学習をふり返り、疑問点や興味のあることについて質問します。

3 留意点

- ①活動は、6グループ40人程度を想定しています。2クラス以上で合計の人数が多い場合などは、1クラスずつ45分授業のメニューが適当です。
- ②場所は、グループでテーブルを囲める図工室のようなところが適しています。
- ③地域に発掘調査された遺跡がある場合は、その出土品を見ることができます。
- ④縄文時代のほか、旧石器時代、弥生時代～江戸時代の遺跡出土品を使った地域学習や授業サポートもできます。